

アンバ アコスタ (元カトリック教徒 アメリカ合 国)

:

明:

カトリック教徒として育てられ教育を受けた、イスラ ムの中にカトリックにおいて探し求めているものを出したある若い女性の。

目: [事新改宗者ムスリムの逸 女性](#)

より: アンバ アコスタ

05 Dec 2009

集日 05 Dec 2009

なぜ私はムスリムになったのか？ 私は、何らかの潜在意 と神への 的探求によってあの日へと かれ、アメリカのコネチカット州からやって来たのでした。私は、カイロのアズハルモスクで正式に改宗した日のことを今でも正 に思い出せます。

私は子供ながらに常に神と宗教を 信していましたが、それは してカトリックが教える形のものではありませんでした。私は神がいかに三位一体であるか、私たちがいかにイエス（彼に平安あれ）やマリアや 人など大 に祈ることが出来るのか、また原罪という概念や、司祭のみがいかに罪を“赦す”ことが出来るのか、またなぜ全く う が100 もあるのかどうしても理解することが出来ませんでした。

これらは司祭を含むいかなる者も述べたり 明したりは出来ないようなことの、ほんの一例です。 くべきことに、私は教会へ行き宗教教育を受けましたが、良いキリスト教徒になるためには一体何をすべきなのかよく分からないまま ってきていたものです。私は“善良さ”、“施し”、“切”、“慈悲深さ”などの好ましい性格を身につけるべきである と いましたが、どうすればよいかという 践的なことは教えられませんでした。

私は知らず知らず、自分が知り常に祈る唯一の神と出会う道と、またいかに人生を送るべきかを正に示してくれる神からのを探していました。しかし日々はぎ、私は反心を抱えながらも家族からの力の中で、カトリック教会に通い けました。大学生になるまで、宗教は私にとって日曜の朝の面倒以外の何ものでもありませんでした。しかし、神は私の前におられ けたのです。

私はカトリックの大学に行くこととなり、カトリックに最のチャンスを与えてみることにしました。私は心底、神に近付きたかったのです。私はもう一度自分の知る限りの方法で自分の道を見つけようと最善を尽くしましたが、それを見つけることは出来ませんでした。そしてついに私はカトリック教を てました。つまり、他の 肢を探すがやって来たのです。

カトリックとキリスト教 宗派は 去の彼らとの から除外し、またユダヤ教もイエスへの不信心を理由に除外しました。私はキリスト教に を出してはいましたが、イエスが人に力いメッセジ 唯一神の崇 というメッセジ を携えてきたということは常に 信していました。私はどうしてキリスト教徒がイエス自身を崇 するようになったのか全く理解出来ませんでした。彼はそのことを して望んではいなかった、と私は 信していました。これが私にもう一つの 肢を与えてくれました。つまりイスラ ムです。

イスラ ムには以前エジプトに旅行した に があったので、私はこの信仰の可能性にオープンでした。その はエジプトにいる一人か二人の友人以外のムスリムは知りませんでした。イスラ ムは私にとって のものではありませんでした。

私はインタ ネットを通してクルア ンを み始め、またイスラ ムに する情 を探し始めました。私がクルア ンに最初に触れてみて思ったのは、これが して人の手によって かれたものではないという本能的直感でした。それはただ、 に超越していました。これは人によって かれた の寄せ集めのような を んだ の印象とは、全く 照的でした。しかしクルア ンの言 への と、それが唯一 言者ムハンマドへの 示を わらず えているということだけが私に感 を与えたものではありませんでした。

私はイスラームについて学んだ全てのことを心地よく感じていました。この心地よさゆえに、私はイスラームを探究し、学び、受けました。一番重要なことは、過去に抱いていた2つの宗教的（ただ神のみを崇めたいという欲求と、その体系）への答えをつけたことでした。イスラームは、格に唯一の神性を備え、ムスリムがどのような仲介者もなく神のみを崇め、クルアーンとスンナ（言者の言行）に倣うことを完全な生き方としています。私は遂にどうすればよいキリスト教徒になれるのかを知りました。それはムスリムになるということだったのです！

大学の最後の2年、私はイスラームへの信仰をもつ一方、カトリックの大学でどうすればよいかよく分からずにいました。心の中では自分がムスリムであることは分かっていましたが、家族や友人に、このことをどう打ち明ければよいか分かりませんでした。

大学卒業、私はインターシップを受け喜んでエジプトに行きました。そして正式に改宗する手助けをし、宗教において多くの重要なことを教えてくれた主人となる人を含め、良いムスリムの友人を山作りました。私はこのような素晴らしい手助けを受けることが出来、本当に幸でした。

しかし私がムスリムになったことを人々に伝えることは、簡単なことではありませんでした。何人かの人には私が自分の新しい宗教を受け入れたことに喜んでくれましたが、いつも祝福や丁寧な反応を受けるわけではありませんでした。しかしいずれにせよ、私はそのことによりくなりました。私は自分の信仰を守ることができ、自分がムスリムであることを日神に感謝しています。私は神や宗教について混乱しつつ、成長したことを覚えています。しかし今、真実を理解したことにより私はついに足を感じ、道を正に幸せに歩んでいます。

この事のウェブアドレス:

<https://www.islamreligion.com/index.php/jp/articles/485>

著作 2006-2015 断 断 を禁じます。 2006-2023 IslamReligion.com. 断 断 を禁じます。